

山梨県高体連バスケット専門部 【申し合わせ事項・ウィンターカップ県予選大会】

山梨県高体連バスケットボール専門部

公式大会、実施に当たり JBA、山梨県教育委員会等のガイドライン及び山梨県バスケットボール協会の大会実施ガイドラインに基づいて大会を行うものとする。大会参加校は大会実施にあたり、本「申し合わせ事項」を確認することとする。(JBA ガイドライン第 4 版 09/02/'21 更新 参照)

I. 大会開催時感染予防について

1. 大会 2 週間前

- ・顧問、選手等は、「大会要項」「県協会 HP のガイドライン」「申し合わせ事項」などを熟読すること。
- ・参加校は、必要書類の提出に向け準備をする。各個人においては、毎日の検温を行い記録する。**(大会前 2 週間分を提出)**(下記の様式)するとともに、新しい生活様式に則った生活に心がけること。
- ・48 時間以内の自チーム以外の対外試合禁止を推奨。

提出書類 (大会当日提出)	枚数	形式
①大会参加申込書	(各チーム1枚 要校長印)	高体連バ HP D/L
②健康チェックシート: 参加チーム提出用(様式 2-3)	(チームメンバー1人1枚ずつ必要: 監督・ コーチ・トレーナー・マネ含) 2週間分	高体連バ HP D/L (県バスケット協会 HP)
③県内大会提出用メンバー表	(各チーム1枚/要メンバーID) TO 用	高体連バ HP D/L
④各施設利用書 * 提出が必要な会場は、記入し、当日提出	当該チーム(各チーム1枚要検温等) 県市町村等管理団体の指示に従う	各施設の HP 参照 (高体連バ HP D/L)

2. 大会当日について

(1) 大会参加チーム関係

- ・会場入場の際は、全メンバー一緒に入り口で、検温を受けること。**定刻同時刻のチーム同士で検温を行う。**チーム責任者がいる場合は、責任者が検温を実施すること。チーム責任者等がない場合は、係を呼んで入館チェックを受けること。(審判で入場した際も同様とする) 相互扶助。
- ・各チームで必要なコロナ対策用品(消毒液・マスクなど)を必ず準備すること。
- ・会場敷地内に入る際には、マスクを必ず着用すること(ウォーミングアップ・試合出場時を除く)。
- ・**無観客試合での実施**となるが、生徒送迎のための保護者の駐車場内等への進入は認める。
- ・選手、スタッフの会場入りは、試合開始予定時刻の**1 時間前**とする(密を避けるため)。
- ・会場到着後、チーム代表者が**上記提出書類①～③(④)**をまとめて会場責任者もしくは、本部へ提出する。
「健康チェックシート(参加チーム提出用)(様式 2-3)」は全員分提出(一人につき一枚ずつ必要)
(感染確認などの為、提出後 1 カ月は専門部で保管する)。
- ・ゲーム/更衣/休息を取るためなどに使用した場所(控室ロッカー/ベンチ含)の消毒を、チームで持参した消毒液等で必ず行い、次のチームへ引き継ぐこと。
- ・会場に入る際には、係又はチームでの検温と設置する消毒液で手指を消毒すること。
- ・前ゲーム終了後、消毒が終わった後に、次チームのフロア入場を可能とする。
- ・TO やフロアキーパーは随時消毒を行い、必ずマスクを着用して任務にあたること。終了後消毒。
- ・各チームで、ゴミ袋を用意し、責任を持って必ず持ち帰ること(感染予防徹底)。

- ・タオルの使用など、個人で用いるものを区別して取り扱うことを徹底すること。
- ・応援の仕方についての諸注意が各施設より出ている。声を出しての応援は避けること。

(2)会場内：「使用前の手洗い・消毒/使用後の消毒を徹底」「蜜を避けて換気の実施」「**不織布マスク推奨**」

- ①エントランス：消毒液・体温測定（各顧問、係より） ②トイレ：石鹸 ③選手控室・更衣室：十分なスペース（利用者が消毒液を用意） ④フロア：十分なスペース確保、常に換気、椅子の間隔をあける、使用後の消毒 ⑤役員控室：十分なスペース、換気、使用後消毒 ⑥応援席：ベンチに入りきらない控え選手のみ可・密を避ける・マスクの着用・会話も控える・大声での声援はなし（例：拍手のみ）・換気の徹底・応援終了時の手すり、座席等使用場所の消毒 ⑦その他：使用した場所は消毒を退去時、各チームで責任を持って行う ⑧ゴミの廃棄：各自、各チームで持ち帰る（本部も含め）

(3)コート上

- ①試合前：コート、ベンチ、フロアに入る全員の手洗い消毒の徹底 ②試合中：回し飲みの禁止、各自飲料用ボトルの用意、ベンチでは原則マスクの着用（コーチも含め） ③試合後：入れ替え時・ベンチ、T0用品・座席、フロアキーパー用具・座席の消毒

3. 大会終了後

- ・手洗いの徹底、バランスの良い食事と休息十分な睡眠、引き続き検温と行動記録の作成等に努める。
- ・チェックシートの保存（1カ月保管）、発症等があったら関係機関への速やかな報告・連絡、および対応。
- ・大会期間前から接触確認アプリ COCOAを自身のスマートフォンにインストールした状態にしておく。陽性反応が出た場合は、アプリからも濃厚接触者へ通知が届くようになっており、感染拡大予防に役立つ。

II. 大会辞退、中止について

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- ア. 体調がよくない場合（発熱など）、「健康チェックシート」項目に当てはまらない場合 イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ウ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は、当該在住者との濃厚接触がある場合

*大会中にコロナ感染症が発生した場合は、大会途中の中止判断もあり得る。その際、代表校が決定していない場合は、最良の策を講じて代表校を決定するものとする。

III. その他

最も大切にしなければならないことは、バスケットボール活動によって「集団感染（クラスター）・感染拡大を起こさないこと・誹謗中傷を生み出さないこと」である。

- ・バスケットボール活動を行って良いのは「感染していない者」が大前提である。バスケットボール活動では、感染している者がいる中では感染対策を行っても感染しないようにすることは大変困難。
- ・大きな症状が見られなくてもウイルスに感染している可能性があり、軽い風邪の症状を見逃さないことが大切。熱中症と風邪の症状、感染症状は似ているので、体調がおかしいと感じたら「積極的に休むこと」。
- ・指導者・選手は練習を休むことに抵抗があるかもしれませんが、現在はこれまでの状況とは異なる状況にあることを受け入れてください。集団感染が発生すればより大きな支障が出ます。従って「やりたくとも辛抱すること」を指導者が選手に伝え、チーム全体の理解を促してください。
- ・大会前だけでなく日常的にチーム内に感染対策責任者（担当者）をおき、選手スタッフの健康チェックのみならず、選手スタッフのご家族の健康状況に変化がないかについても情報収集を心がけ、チーム内でクラスターが発生しないように注意を払う。
- ・活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間で誹謗中傷が起こることがあってはならない。チーム内・関係者・保護者等と共通認識を持つよう連絡をする。

*いかなる場合においても、感染者に対する誹謗、中傷は許されない行為であり、絶対に行わない。全員がチーム「山梨県高体連バスケットボール部」の一員である。